

事業所名 星陵台児童発達支援教室バンビ

支援プログラム

作成日

2025年

2月

5日

法人（事業所）理念	様々な体験と発見を子ども達に						
支援方針	生活スキルの向上から運動、学習、SST、食育まで幅広く支援を行う。						
営業時間	9時	0分から	12時	30分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	1. 健康状態の把握（気分の把握・体温チェック） 2. 健康の増進（基本的な生活のリズムの習得。食育の観点から季節のお野菜の収穫イベントを実施） 3. リハビリテーションの実施（SSTを通して身体的、精神的、社会的訓練を実施）			4. 基本的な生活スキルの獲得（トイレトレーニング、衣服の着脱、お箸練習等） 5. 構造化等により生活環境を整える（パーテンションの利用、お支度ボード等の活用）		
	運動・感覚	1. 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上（体幹トレーニング等様々な運動メニューによる技能向上） 2. 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用（姿勢補助用具等の活用） 3. 保有する感覚の活用（目隠しゲーム・ビジョントレーニング・聞き取りトレーニング等）			4. 感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応（代替品等で感覚の偏りに対する環境調整）		
	認知・行動	1. 感覚や認知の活用（ビジョントレーニングや聞き取りトレーニングを通して活用出来る能力の向上） 2. 知覚から行動への認知過程の発達（視覚支援カードの使用） 3. 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成（見通しを持った環境作り）			4. 数量、大小、色等の習得（形や重さのマッチング、数量の学習） 5. 認知の偏りへの対応（認知トレーニング） 6. 行動障害への予防及び対応（適切行動を強化し不適切行動の弱화를促す）		
	言語 コミュニケーション	1. 言語の形成と活用（実物マッチング、言葉集めゲーム、お口の体操） 2. 受容言語と表出言語の支援（写真カード、イラストカード、表情カード、会話ゲーム、質問ゲーム） 3. 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得（様々な年齢の児童と少人数で過ごすことで、より深いコミュニケーションの場を提供）			4. 読み書き能力の向上のための支援（平仮名チップ、色別書き順プリント） 5. コミュニケーション機器の活用（絵カード、コミュニケーションボード）		
	人間関係 社会性	1. アタッチメント（愛着行動）の形成（第二の自宅と思える環境作り） 2. 模倣行動の支援（様々な年齢の児童との交流） 3. 感覚運動遊びから象徴遊びへの支援（お店屋さんごっこ、おままごと、動物体操）			4. 一人遊びから協同遊びへの支援（チーム活動、協力活動） 5. 自己の理解とコントロールのための支援（目標達成シート、振り返り） 6. 集団への参加への支援（SST）		
家族支援	日々の様子を連絡帳で記載し、情報共有を行う。相談援助も定期で実施。（年2回以上）、家庭内で取り組んでほしい内容等は、保護者様にも伝え、連携をとりながら療育を進める。			移行支援	園との連携会議を実施。（年1回以上）、卒業時は、サポートブックを作成し、移行先との連携を深める。		
地域支援・地域連携	地域の方の畑けでサツマイモや玉ねぎの収穫体験。お祭りへの参加等。			職員の質の向上	職員勉強会の実施（年3回程度）、ケアカンファレンス・ケース検討会議の実施（年6回程度）、その他職員研修		
主な行事等	節分、野菜の収穫、音遊び、クッキング、七夕、敬老の日、おでかけ、ハロウィン、クリスマス会など。						